

中高年のための
医薬最前線



鼻かぜをこじらせて発症

副鼻腔炎

3か月以上続くと慢性副鼻腔炎と診断を
アレルギー体質の方は難治性になることも

季節の変わり目で、かぜを引きやすくなっています。

「鼻の症状がいつまでも治らない——」ということがありませんか？

このような場合、副鼻腔炎になっていることがあります。

慢性化すると、鼻水・鼻づまりの症状が、日常化してしまうことも。悪化させないために、早めの対処が肝心です。

最近では、アレルギー体質をベースにした、難治性の副鼻腔炎が増加傾向になってきました。



今月の指導

医学博士 鴻 信義 先生
薬剤師 榎本祐子 先生

お話

東京慈恵会医科大学
耳鼻咽喉科学教室 教授
医学博士
おとりのぶよし
鴻信義先生



プロフィール

1989(平成元)年、東京慈恵会医科大学卒業。'92(同4)年、同大学耳鼻咽喉科学教室助手。'95(同7)年~'97(同9)年、スウェーデン王立カロリンスカ研究所フッディング大学留学。2004(同16)年、東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科学教室講師、'07(同19)年、同准教授。'13(同25)年、韓国高麗大学特任教授。'14(同26)年、東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科学教室教授。'18(同30)年、同大学附属病院手術部部長。

日本鼻科学会理事、日本頭蓋底外科学会理事、日本耳鼻咽喉科学会代議員など。

ご専門は、鼻科学。特に、鼻副鼻腔疾患に対する内視鏡下鼻内手術の研究、ナビゲーションシステムなどの手術支援機器の研究、難治性副鼻腔炎病態の研究など。

「父に憧れて耳鼻咽喉科医師に」

耳鼻咽喉科の治療において、質・量ともにトップクラスの東京慈恵会医科大学附属病院。内視鏡を用いた経鼻的手術、ナビゲーション手術のエキスパートといわれているのが、鴻信義先生です。

ご尊父は、千葉市で耳鼻咽喉科を開業する医師でした。

「私の通う小学校、高校の校医で、健康診断のときに白衣を着ている父の姿に憧れ、実家を継ぐつもりでした」

「休日は家族の演奏に耳を傾けています」

趣味は、料理や音楽鑑賞、ゴルフなど。

ただ、現在は、新型コロナウイルス感染症対策で中断していた手術が再開、多忙を極め、どれもできていないのが実情です。

「妻はピアノ、息子はチェロを弾きます。何の楽器も演奏できない私は、いつも、“一緒にできたらいいなあ”と思いながら、聴いているのです(笑)」



長引く鼻かぜに注意

また、最近では、鼻茸(鼻ポリープ)やムチンというニカワ状の鼻水ができる好酸球性副鼻腔炎が、増加傾向に。これは、粘膜などに好酸球が過剰に集まることで発症するタイプです。

感染症対策の手洗い・うがいに加え
鼻洗浄を取り入れて副鼻腔炎の予防も
炎症が鼻腔から副鼻腔へ
鼻のつらい症状が長期化

鼻水・鼻づまりがいつまで経っても治らず、咳も止まらない——。そんな経験をした方は多いことでしょう。

こうした場合、いつの間にか、鼻かぜから副鼻腔炎に移行している可能性があります。

副鼻腔炎には、いくつかのタイプがありますが、もっとも多いのが、非好酸球性副鼻腔炎。

ウイルスや細菌などによる感染で、白血球中の好中球が増えて膿が出るものです。急性副鼻腔炎と、一般に「蓄膿症」といわれる慢性副鼻腔炎があります。

非好酸球性副鼻腔炎は、中年の男性に多いのですが、好酸球性副鼻腔炎は、ぜんそくやアレルギーなどの体質的なことが背景にあり、男女問わず、比較的若い世代でも罹患します。

今回、非好酸球性副鼻腔炎と好酸球性副鼻腔炎について、解説していきます。

黄色い鼻水が特徴 においが分らないことも

非好酸球性副鼻腔炎 抗菌薬の服用で治療

くしゃみ、鼻水、鼻づまりなどの急性鼻炎の症状が出て



鼻はしっかりかみましよう

も、ほとんどは自然に治ることが多いものです。

ただ、悪化する、鼻腔だけでなく、副鼻腔に炎症が広がることに。

「患者さんの中には、鼻づまりの40年選手です」という方もい

らっしゃいます。急性で症状がつかいときは受診されますが、慣れてしまうと、悪化しても気づかないことが多いのが実情です」

そう話す、鴻信義先生。鼻炎がひどくなると、頬やおでこにある副鼻腔に、黄色ブドウ球菌などの膿がたまることがあります。

また、中耳炎や気管支炎、ぜんそく、肺炎を引き起こすことも。目や頭部にも近い

め、物が二重に見える複視や視力低下、さらに目の腫瘍、脳の中に膿が入り込む脳膿瘍といった合併症が起こることもあるのです。

慢性副鼻腔炎の患者さんの数は、軽症を含めれば、約200万人と推察されます。

「大雑把ですが、その中の1割程度が通院加療を必要とし、さらにその1割にあたる2〜3万人は手術が必要ですよ」(鴻先生)

副鼻腔とは？

鼻腔の奥にある4つの空洞



※篩骨洞の後ろに、蝶形骨洞があります

鼻は、嗅覚器官であるとともに、肺に出入りする空気のとおり道にもなっています。

肺に向かう空気を温め、加湿し、汚れをとるなど、フィルターの役目をしているのです。

さらに、空洞部分は声に響きを加えています。

鼻腔と副鼻腔は、左右にそれぞれ4つずつ空洞があり、いずれも自然口という小さい穴を通じて交通しています。

鼻かぜの状態が4週間以内に治れば、急性副鼻腔炎ですが、12週間以上続くと、慢性副鼻腔炎と診断を。

治療においては、膿や鼻水を吸引、副鼻腔の1つである上顎洞の洗浄などを行います。

好酸球性副鼻腔炎は、ぜんそくとの合併率が高く、半数

好酸球性副鼻腔炎

難治性で半数は手術が必要

用することで比較的早く治ることが期待できますが、慢性の場合は時間を要することに。鼻汁の粘りが強い場合は、粘液溶解剤や、炎症を抑える解熱鎮痛薬などを併用することもあります。

抗菌薬やステロイド薬を霧状にして吸入するネブライザー療法も有効です。現在はコロナ感染症予防のために、あまり行われていません。

好酸球性副鼻腔炎は、ぜんそくとの合併率が高く、半数

非好酸球性副鼻腔

〈特徴的な症状〉

- 緑や黄色で粘性の臭う鼻水が出る
- 鼻がつまる
- 頭や目、頬に痛みがある
- 痰がからんで咳が出る

好酸球性副鼻腔炎

〈特徴的な症状〉

- 粘り気のある鼻水
- 嗅覚障害がある
- 鼻茸(鼻ポリープ)ができる
- ぜんそくを併発しやすい

こんな症状があれば 要注意！

鼻炎から副鼻腔炎に進行しているかもしれません。

- 鼻づまりが、いつまでも治らない
- 粘り気のある黄色い鼻水が出る
- 鼻水がのどに落ちる
- においがしない
- 咳や痰が長期間出ている
- 頭が重い、頭が痛い
- 顔や目の奥が痛い、腫れる
- 頬や鼻の周囲、額が痛い

はステロイドの内服薬や点鼻薬で、しばらく経過観察です」(鴻先生)

コントロール不良な場合は、ステロイド薬の長期投与による副作用である骨粗しょう症や糖尿病などを回避するため、体質改善薬であるロイコトリエン受容体拮抗薬を使ったり、分子標的薬などの使用を検討します。

ぜんそく治療に使われる分子標的薬は、好酸球性副鼻腔炎に対しても効果が期待でき

近くは手術が必要になります。抗菌薬が効きづらく、手術後に服薬や鼻洗浄などのケアを続けることで、1年後に7割ほどは治癒または軽快します。

ただ、2〜3割の方で再発を繰り返す難治性の疾患です。

「手術では、鼻茸や腫れた粘膜などを取り除き、また、副鼻腔への交通路を広げ、鼻腔のとおりをよくします。術後

榎本調剤薬局（東京都立川市）代表取締役
薬剤師 榎本祐子先生



プロフィール／1998(平成10)年、明治薬科大学衛生薬学卒業。都立駒込病院、スミダ薬局勤務ののち、榎本調剤薬局に。2016(同28)年、代表取締役に就任。'18(同30)年2月、立川北口店、'19年(同31)年に3店目のコクーン店を開局しています。

「新型コロナウイルス感染症予防のため、受診を控え、おクスリを切らしている可能性がある方にはご連絡を。電話による受診やおクスリの郵送、オンライン服薬指導などの手段があることをお伝えしています。

また、最近、LINEアプリを使ったサービスを取り入れており、好評です」

おクスリ屋さん相談

なぜは早めに対処を

鼻かぜは、こじらせないうちに、治していきましょう。

適したおクスリなどさまざまにありますので、店頭でご相談ください。

鼻炎薬、蓄膿症薬、漢方薬、うがい薬など



早めに相談を

好酸球性副鼻腔炎は難治性といわれていますが、新薬の開発が進んでいきます。あきらめずに治療は続けてください。

ことも大切です。手洗い・うがい、マスクの着用、そうして、加湿を心掛けてください。副鼻腔炎の予防としては、鼻洗浄もお勧めです。

副作用の胃腸障害に注意

さて、副鼻腔炎のうち、好酸球性副鼻腔炎の治療では、抗菌薬を服用します。急性期はペニシリン系を使用しますが、慢性期はマクロライド系を通常の半量以下で2〜3か月間、服用することに。副作用として、下痢や胃腸障害などが起こることがあります。その場合は、整腸薬や胃腸薬の併用も。また、鼻茸がでることの

ます。症状のコントロールがよく、ステロイド薬の使用量が減らせることに。「分子標的薬の開発が進んでおり、難治性といわれる好酸球性副鼻腔炎の治療にも光がさしてきました」(鴻先生)

好酸球性副鼻腔炎は、国の指定難病であり、医療費助成などの対象になっていますので、専門家にご相談を。

再発予防には鼻洗浄を まずは鼻かぜに対処

いずれの副鼻腔炎も、発症の予防のみならず、再発予防のためには、微温の生理的食塩水による鼻洗浄が勧められます。

慢性期は抗菌薬を長期に服用

鼻水はしっかりと飲んで出して

鼻かぜが長引くと、頭がボーッとすることが。副鼻腔に鼻水がたまっているのかもしれない。まずは、しっかりと

慢性副鼻腔炎は蓄膿症ともいわれ、市販のOTC医薬品でも対処が可能。主に、辛夷清

ます。朝・晩、やさしく洗浄することにより、感染症の予防や鼻腔の過剰な分泌液の排除に役立つのです。「新型コロナウイルス感染症をはじめ、かぜやインフルエンザの予防に、手洗い・うがいが励行されていますが、副鼻腔炎のことを考えるとよいでしょう」(鴻先生)

子どもは、鼻かぜが長引きやすく、副鼻腔炎を心配される親御さんも多いようです。「小さいお子さんは、鼻の機能が成長過程であり、成人と違い、使用できないおクスリも多くあります。

慢性副鼻腔炎は蓄膿症ともいわれ、市販のOTC医薬品でも対処が可能。主に、辛夷清

内視鏡下副鼻腔手術とは？

鼻から器具を入れて膿などを吸引

副鼻腔は複雑な形状をしており、場所によっては眼球や頭蓋底、視神経に近いので、手術には技術を要します。

かつては、歯茎や顔面を切開して行われていました。

しかし、2000(平成12)年以降、鼻の穴から器具を入れる内視鏡下副鼻腔手術がスタンダードになっています。

「現在では、器具も一段とグレードアップし、リアルに見られるモニターを使用。器具の位置を精密なCT画像上に表示させるナビゲーション下でのガイド手術など、より安全に、短時間で手術ができるようになってきました」(鴻信義先生)

しかし、よくなったり、悪くなったりを繰り返しながら、高校生ぐらいになると治っていくことが多いので、過剰に心配しないようにと伝えていきます」(鴻先生)

今冬は、感染症予防に努め、鼻かぜを引かないようにして、副鼻腔炎を防いでいきましょう。

副鼻腔炎の治療には、抗菌薬を服用していきます。鼻茸ができることのある好酸球性副鼻腔炎では、ステロイド剤や抗アレルギー薬を。

鼻水が出ているときは、かんで出し、鼻洗浄も取り入れて予防していきましょう。

肺湯などの漢方処方に基づいたおクスリです。ご自分の体質に合うものを使用するため

に、店頭にてご相談ください。日ごろから鼻かぜを引きやすい方は、かぜ予防に努める

副鼻腔炎のおクスリ

〈抗菌薬〉

- 広範囲ペニシリン系薬／アモキシシリン水和物など
- マクロライド系薬／クラリスロマイシンなど

〈耳鼻咽喉科用剤〉

- 副腎皮質ステロイド／フルチカゾンフランカルボン酸エステルなど

〈抗アレルギー薬〉

- ロイコトリエン受容体拮抗薬／モンテルカストナトリウムなど

〈気管支喘息治療薬〉

- 抗IL-5抗体／メボリズマブ

〈皮膚科用剤〉

- アトピー性皮膚炎治療薬／デュピルマブ

ある好酸球性副鼻腔炎では、炎症や腫れを抑えるために、ステロイドの点鼻薬などが使われます。内服薬よりも副作用が少なく、効果の出現も早いのが特長です。副作用として、鼻内の刺激感や鼻痛、乾燥、鼻血が出ることも。ステロイド薬の使用で改善が見られない場合は、ロイコトリエン受容体拮抗薬が使われます。手術後の再発性の場

合、特定の分子の機能を制御する働きを持つ分子標的薬を使うことも。ぜんそくとの併発にはメボリズマブ、鼻茸ができてい方にはデュピルマブが使われているようです。